

○ペメトレキセド[ニプロ]による

悪性胸膜中皮腫の治療を受けられる 患者さんとご家族の方へ (シスプラチンとの併用)

監修:岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 教授 **木浦 勝行**先生



はじめに

ペメトレキセド「ニプロ」(以下、ペメトレキセド)は悪性胸膜中皮腫の治療に使われる抗がん薬で、通常、シスプラチンという抗がん薬と組み合わせて使います。

この冊子では、ペメトレキセドとシスプラチンの併用療法(以下、ペメトレキセド+シスプラチン併用療法)について、お薬の働き、治療スケジュール、主な副作用、治療前・治療中の注意点などを説明します。

悪性胸膜中皮腫の治療を受けられる患者さんとご家族の方の治療への理解を促し、少しでも安心して治療に臨んでいただく助けとなりましたら幸いです。

抗がん薬治療は、がん細胞の増殖を抑えるという効果がある一方、副作用 もあり、そのバランスを考えながら治療は進められます。

副作用やその対策を正しく理解し、副作用を最小限に抑えるために、巻末にある治療ダイアリーなどを活用して、治療中の体調変化や気になることなどを医療スタッフにお知らせください。治療を継続していくために患者さんの状態を知ることが重要です。

治療中に不安や疑問に思うことがある場合は、遠慮なく、医師、薬剤師、看護師などの医療スタッフにご相談ください。医療スタッフはご家族とともに患者さんに寄り添ってまいります。

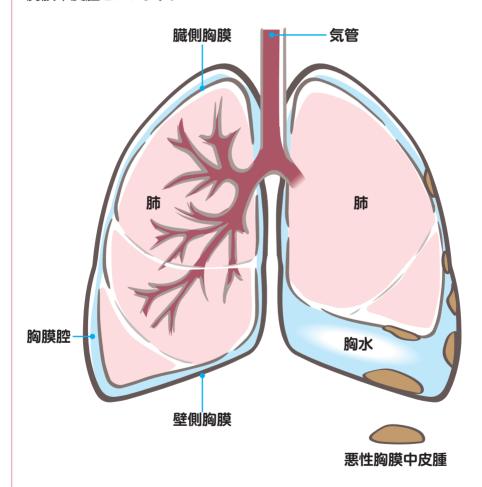
岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 教授 **木浦 勝行**

目次

| ● 悪性胸膜中皮腫とは ―――――――――――――――――――――――――――――――――――― | 3 |
|---|----|
| ● 悪性胸膜中皮腫の薬物療法 | 4 |
| ● ペメトレキセド+シスプラチン併用療法について ————— | 5 |
| ● 治療前に確認いただきたいこと ―――――――――――――――――――――――――――――――――――― | 6 |
| ペメトレキセド・葉酸・ビタミンB₁₂とシスプラチンの投与方法 | 7 |
| ● 治療スケジュールについて | 9 |
| 副作用について | 11 |
| ● 治療中に気をつけること ―――――――――――――――――――――――――――――――――――― | 17 |
| ● 治療ダイアリー記入例 | 18 |
| ● 治療ダイアリー ―――― | 19 |

悪性胸膜中皮腫とは

肺の表面は通常は2枚の胸膜(壁側胸膜、臓側胸膜)で覆われており、これらの膜の表面を覆っている中皮と呼ばれる細胞から発生する悪性腫瘍を悪性胸膜中皮腫といいます。



悪性胸膜中皮腫の薬物療法

● 薬物療法とは

薬物療法とはお薬によってがん細胞の増殖を抑えたり、がん細胞の成長を 遅らせたりする治療です。薬物療法は全身治療であり、より広い範囲に効果 を発揮することが期待できます。薬物療法は手術や放射線治療と組み合わ せて行うこともあります。また、1種類のお薬を使う方法と、数種類のお薬を 組み合わせる方法があります。

● 悪性胸膜中皮腫の治療薬

悪性胸膜中皮腫の薬物療法に使えるお薬には、「細胞傷害性抗がん薬」と「免疫チェックポイント阻害薬」という種類があります。ペメトレキセドとシスプラチンは細胞傷害性抗がん薬に分類されます。

細胞傷害性抗がん薬

細胞傷害性抗がん薬は、殺細胞性抗がん薬と呼ばれることもあります。細胞分裂を阻害することで、がん細胞の増殖を抑えます。主な細胞傷害性抗がん薬として、代謝拮抗薬、プラチナ製剤、微小管阻害薬などがあります。

免疫チェックポイント阻害薬

免疫は感染症や病気から体を守るための重要な生体防御機能ですが、免疫の力が強くなりすぎると、自分自身を傷つけてしまう「自己免疫反応」を生じることがあるため、体内には免疫を制御するブレーキ機能も備わっています(免疫チェックポイント機構)。がん細胞はこの仕組みを巧みに利用し、自分に対する免疫細胞(T細胞)の攻撃にブレーキをかけます。免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞からT細胞へ送られる異物攻撃中止の命令を解除するように働き、免疫細胞の働きを復活させます。

ペメトレキセド+ **シスプラチン併用療法**について

● ペメトレキセド+シスプラチン併用療法は悪性胸膜中皮腫の治療法の1つ

ペメトレキセド+シスプラチン併用療法は、ペメトレキセドとシスプラチンを 組み合わせて用いる治療法で、悪性胸膜中皮腫の治療に効果が認められています。

ペメトレキセドについて

がん細胞は、遺伝子であるDNAがなければ増えることができません。ビタミンの一種として知られる葉酸は、細胞増殖におけるDNA合成に必要不可欠な物質です。ペメトレキセドと葉酸の化学構造は似ているため、がん細胞は葉酸と間違えてペメトレキセドを取り込みます。その結果、DNA合成ができず、がん細胞は死滅します。

ペメトレキセドによる治療では、重篤な副作用の発現頻度を減らす目的で、 必ず葉酸とビタミンB₁₂を併せて投与します。

シスプラチンについて

シスプラチンはプラチナ製剤の1つで、がん細胞の DNAと結合することで、がん細胞の分裂を阻害し、 増殖を抑えます。



治療前に確認いただきたいこと

治療を開始する前に以下の項目について確認し、いずれかにあてはまる方は、必ず医師、薬剤師、看護師にお伝えください。

| 薬や食べ物にアレルギーがある、又はアレルギー症状(発疹、発赤、 かゆみ、呼吸困難、めまい、血の気が引いて唇や指先が青紫色 になる、など)を起こしたことがある。 |
|---|
| 市販薬(薬局やドラッグストアで買うお薬)も含めて、現在使用しているお薬(飲み薬、貼り薬、塗り薬、坐薬、目薬などどんなお薬でも)がある。 |
| 使用中の健康食品、サプリメントがある(総合ビタミン剤、ビタミンサプリメントなどのビタミン剤についても忘れずに伝えてください)。 |
| 他の医師又は歯科医師による治療を受けている、又は受けよう としている。 |
| 間質性肺炎、肺線維症にかかっている、又は以前にかかったこと がある。 |
| 妊娠している、又は妊娠している可能性がある。/パートナーが 妊娠する可能性がある。 |
| 授乳中である。 |
| 耳が聞こえない、聞こえにくい、耳鳴りがする。 |

ペメトレキセド・葉酸・ビタミンB₁₂

● ペメトレキセドとシスプラチンを点滴投与

ペメトレキセドを10分間かけて静脈内へ点滴投与した後、シスプラチンを静脈内へ点滴投与します。吐き気・嘔吐を予防する目的で制吐薬やステロイド薬を併用します。また、シスプラチンは腎臓に負担のかかるお薬のため、シスプラチンを投与するときは、腎臓の負担軽減のために、前後に輸液を点滴投与します。

シスプラチンを併用するときの投与スケジュール例

制吐薬・ ステロイド ペメトレキセド 点滴静注

輸液

シスプラチン 点滴静注

輸液

10分間

60分間

上記投与スケジュールは参考例です。投与時間を含め、実際の投与スケジュールは患者さんの体調をみながら 決められます。

● ペメトレキセド+シスプラチン併用療法は3週間に1回の繰り返し投与

ペメトレキセドとシスプラチンは1回投与したら、次の投与まで20日以上間隔をあける(休薬する)必要があります(約3週間に1回投与)。この3週間を1コースとして繰り返します。

● 通院による外来治療も可能

ペメトレキセド+シスプラチン併用療法は、入院だけでなく、通院による外来治療も可能です。患者さんの状態などを踏まえて、入院治療又は外来治療が選択されます。

とシスプラチンの投与方法

● ペメトレキセドの投与には葉酸とビタミンB12が必要不可欠

ペメトレキセドによる治療では、白血球や血小板の減少、嘔吐や下痢などの副作用が生じることがあります。これらの副作用対策として、葉酸とビタミンB₁₂を必ず併用する必要があります。いずれもペメトレキセドの投与開始前から投与します。

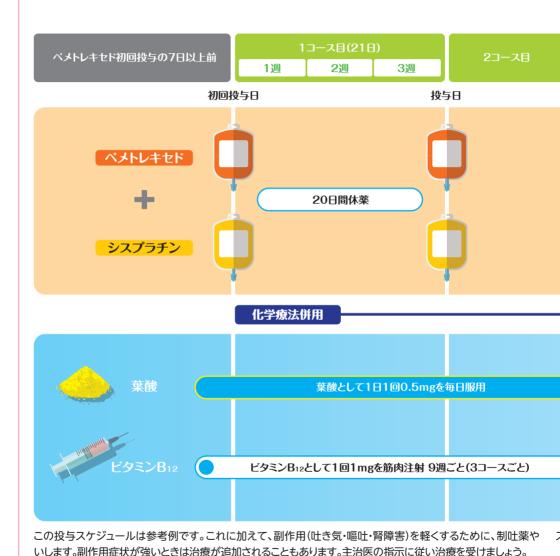
葉酸は1日1回毎日内服

葉酸は、ペメトレキセドを最初に投与する(初回投与)日の7日以上前から、毎日1回内服します。ペメトレキセドの投与を中止又は終了する場合は、最後にペメトレキセドを投与した(最終投与)日から22日日まで葉酸の内服を続けます。

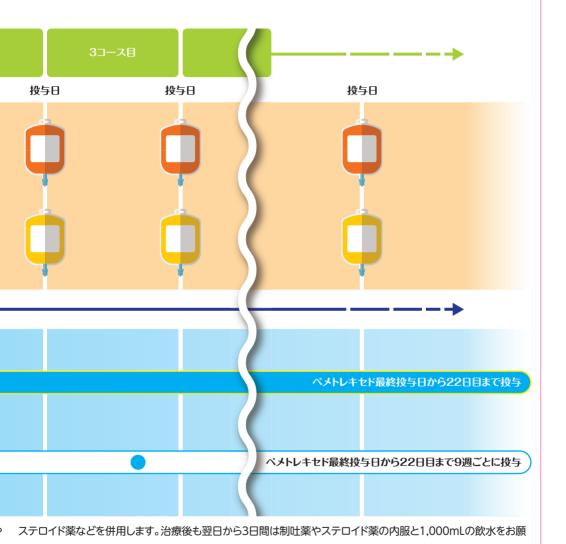
ビタミンB12は9週ごとに筋肉注射

ビタミンB₁₂は、ペメトレキセド初回投与の少なくとも7日前に筋肉注射で投与します。その後、ペメトレキセドの投与期間中及び投与中止後22日目まで、9週ごと (3コースごと)に1回投与します。

治療スケジュ



ールについて



副作用について

ペメトレキセドやシスプラチンなどの細胞傷害性抗がん薬は、がん細胞だけでなく正常な細胞にも作用するため、正常な細胞の働きが障害されて、好ましくない症状(副作用)があらわれることがあります。副作用には個人差があり、あらわれる症状やその強さはさまざまですが、あらかじめ、いつ頃どのような副作用があらわれやすいかを知っておくことで、副作用の早期発見と速やかな対処が可能となります。

副作用の種類や程度によって、患者さんの体調を考え、医師の判断によりがんの 治療をいったん中止又は延期することがあります。副作用の早期診断と治療を行 うことで、本来のがんの治療を中止せずにすむこともあります。少しでも異常を感 じたり、気になる症状があるときは、がまんせず、早めに医師、薬剤師、看護師に 伝えましょう。

● ペメトレキセド+シスプラチン併用療法の主な副作用とあらわれやすい時期*

投与中~数日

- ●吐き気・嘔吐、食欲不振
- ●倦怠感

数日~数週間

- ●吐き気・嘔吐、食欲不振
- ●骨髄抑制(白血球減少、好中球減少、血小板減少など)
- ●下痢
- ●脱水
- ●□内炎
- ●発疹

数週間~数ヵ月

- ●骨髄抑制(白血球減少、好中球減少、血小板減少など)
- ●感染症
- ●下痢
- ●脱水

●浮腫

- ●間質性肺炎
- ●腎障害
- ●脱毛
- ●末梢神経障害 ●聴力低下・難聴・耳鳴り
- *:図はそれぞれの副作用があらわれやすい時期を示していますが、 これ以外の時期にも起きることがありますので注意しましょう。

● ペメトレキセド+シスプラチン併用療法の主な副作用と対策

□ 発熱、感染症(白血球減少・好中球減少)

白血球が減少すると細菌やウイルス、真菌(カビ)などに対する抵抗力が弱くなり、感染症にかかりやすくなります。

重い感染症として敗血症(体の中で細菌などが繁殖し、さまざまな臓器の機能が障害された状態)や肺炎を起こすことがあります。これらの感染症は重症化すると命にかかわることもあるため、以下のような症状があらわれた場合はすぐに医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

- 発熱(特に37.5℃以上の高熱)
- 寒気、体のふるえ、全身の倦怠感
- ○咳
- のどの痛み
- 排尿時の痛み、肛門痛
- 下痢



工夫 宗 左 活

- ・外出からの帰宅時、トイレの後、調理の前・食べる前などには、石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。
- ・なるべく人ごみを避けるよう心がけましょう。
- ・うがいや歯みがきで口の中を清潔に保ちましょう。

□ 出血(血小板減少)

血小板には出血したときに血を固める働きがあります。そのため血小板が減少すると、内出血や出血が起きやすくなったり、血が止まりにくくなったりします。

工夫点 工夫点で

- ・転倒や打撲、ケガには十分注意しましょう。
- ・歯みがきは柔らかい歯ブラシを使い、強くこすらないようにしましょう。
- ・ひげそりには電気カミソリを使い、切り傷をつくらないようにしましょう。

□ 貧血(赤血球減少)

赤血球の赤い色素であるヘモグロビンは、血液中で酸素とくっついて、体のすみずみに酸素を運ぶ役割を担っています。ヘモグロビンが減少すると酸素が十分にいきわたらなくなり、貧血を起こし、めまい、ふらつき、動悸、息切れ、頭痛などの症状があらわれます。



日常生活での

- ・十分な睡眠・休息時間をとり、安静に過ごしましょう。
- ・タンパク質や鉄分などを摂るようにし、バランスのよい 食事を心がけましょう。

□ 間質性肺炎

空気中の酸素を血液中に取り込む肺胞の壁やその周辺の「間質」に炎症が起きることで、肺胞と毛細血管の間の壁が厚く硬くなり、酸素が取り込まれにくくなる病気です。間質性肺炎が起きることはまれですが、重症化すると命にかかわることもあるので注意が必要です。息切れ、痰を伴わない咳、発熱があらわれた場合は、すぐに医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

□ 腎障害·腎不全

お薬の投与後、腎臓の働きが悪くなることがあります。ほとんど尿が出ないときやむくみが生じた場合は、すぐに医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

□ むくみ(浮腫)

長い期間投与したときに、目の周りやまぶたが腫れたり、手足がむくむことがあります。症状を改善するために利尿薬を使うことがあります。症状がひどい場合は、医師、薬剤師、看護師に相談しましょう。

□下痢、脱水

下痢が続くと脱水を起こしやすくなります。下痢の症状が続く場合はすぐに医師又は薬剤師、看護師にご連絡ください。

工夫点

- ・食事は消化のよいものを、何回かに分けて摂るようにしましょう。
- ・脱水を防ぐため、お茶や水だけでなく、スポーツドリンクや経口補水液な ど、水分とナトリウム、カリウムなどの電解質を含む飲み物も飲みましょう。 医師、看護師又は栄養士等に相談してみるとよいでしょう。
- ・冷たい食べ物・飲み物は避け、常温に近いものを摂るようにしましょう。

□吐き気、嘔吐、食欲不振

吐き気、嘔吐、食欲不振の対策は大幅に改善されていますが、患者さんによってはお薬の投与直後から数日間にわたり吐き気や嘔吐の症状があらわれることがあります。吐き気はお薬によってさらに軽減することができますので、つらいときはがまんせずに医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

日常生活での の

- ・食べられるときに消化のよいものを少量ずつ食べるとよいでしょう。
- ・食事がとれない場合は、水分だけでも摂るようにしましょう。

□ 倦怠感•疲労感

お薬の投与後にだるさや疲れやすさを感じることがあります。無理をせず、十分 に体を休めるようにしましょう。日常生活に支障が生じるほどつらいときは、 がまんせず、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

工夫点 で

- ・無理をせず睡眠や休養をとりましょう。
- ・ご自身のリラックス方法を取り入れてみるのもよいでしょう。

□□内炎

口内炎がひどくなると食事がとれなくなることがあります。

工夫点 日常生活での

- ・クチュクチュうがいで□腔内のうるおいと清潔を 保ちましょう。
- ・毛の柔らかい歯ブラシを使いましょう。



□ しゃっくり(吃逆)

しゃっくりが長く続くことで、食事がとりにくい、ゆっくり眠れないなど、生活に影響がみられる場合には、医師、薬剤師、看護師に相談しましょう。しゃっくりを止めるためのお薬が処方されることもあります。

□ 発疹

お薬の投与後、発疹があらわれることがあります。症状をやわらげたり、悪化を防ぐため、ステロイド(副腎皮質ホルモン)の塗り薬などを使うことがあります。 ステロイド薬は、適切な時期に、正しい量を正しく使えば、他の多くのお薬と 同様に適切な効果が得られるお薬です。医師、薬剤師の指示通りに使いましょう。

□ 脱毛

他の抗がん薬と比較して軽度ですが、髪の毛だけでなく、まゆ毛やまつ毛などの体毛が抜けることもあります。ほとんどの方は治療が終われば少しずつ回復します。

工夫点 日常生活での |・帽子やバンダナ、ウィッグなどを利用してみましょう。

□ 末梢神経障害

シスプラチンで末梢神経が障害されて起きる感覚・運動・自律神経障害です。手足のしびれ感や痛みで始まることが多いとされます。以下のような感覚の違和感や異常に気付いたときは、放置せず、できるだけ早く症状が軽いうちに医師、薬剤師、看護師に相談しましょう。

- ・ジンジン、ピリピリ、チクチクなどの異常感覚
- ・何かに触れただけで、電気が走るような痛みを感じる、知覚過敏になる
- ・何かにさわっても感覚がない、感覚が鈍くなり、痛みや温度を感じない
- ・つまずきやすい、物をつかみにくい、持つことができずすぐに落としてしまう

□ 聴力低下・難聴、耳鳴り

シスプラチンの投与後に発現することがあります。初期症状は耳鳴り、高音域や電子アラーム音が聞き取りにくいといった症状で始まることが多いとされます。 以下のような症状がみられた場合にはすぐに医師、薬剤師、看護師に伝えましょう。

- ・耳が聞こえづらい
- ・ピー、キーンといった耳鳴り
- 耳が詰まった感じがする
- ペメトレキセドの副作用のうち、重い症状を引き起こす可能性のある下記の 副作用があらわれることがあります。
 - 骨髄抑制○ 感染症○ 間質性肺炎○ ショック、アナフィラキシー○ 重度の下痢○ 脱水○ 腎不全○ 中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群
- ★ この冊子で紹介した副作用以外にも、体調の変化や何らかの症状がみられた ときは、早めに医師、薬剤師、看護師等にご相談ください。

治療中に気をつけること

- 医師、薬剤師、看護師からの指示を守り、なるべくリラックスして無理のない生活を送ることを心がけましょう。
- 体調のよいとき(白血球減少・好中球減少・血小板減少がないこと)は、軽い 散歩などでリフレッシュするようにしましょう。
- 痛みやしんどさ、不安は決して一人でがまんせず、医師、薬剤師、看護師等 に相談してください。さまざまな分野の専門の医療スタッフが、あなたを 身体的・精神的に支援します。
- ・感染予防(手洗い、うがいなど)に努めましょう。
- 他の医療機関や診療科を受診する際には、ペメトレキセド、シスプラチン、 葉酸、ビタミンB12を使用中であることを忘れずに伝えてください。

治療ダイアリー記入例

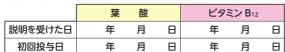
葉酸及びビタミン B_{12} の使い方について医師又は薬剤師から説明を受けた日、投与を開始した日を記入してください

| | 葉 | 酸 | | ビタ | ミン B ₁ : | 2 |
|---------|-------|----|-----|-------|---------------------|-----|
| 説明を受けた日 | 2021年 | 9月 | 3 ⊟ | 2021年 | 9月 | 3 ⊟ |
| 初回投与日 | 2021年 | 9月 | 3 ⊟ | 2021年 | 9月 | 3 ⊟ |

| | 日付 | 2021年 | 9 月 | 14日 | 2021 | 年 9 | 月 | 15 A | 年 | 月 | В | |
|-----|---------------------|-------------------------------|---------------|------------|--------------|--------------------|----------|------------|-------------------------------|------|------------|--|
| | 葉酸 | | $\frac{7}{2}$ | 110 | 2021 | | , | 132 | · | | | |
| 治 | ビタミンB ₁₂ | ر | | | | | <u>′</u> | | | | | |
| 療 | ペメトレキセド | (| $\overline{}$ | | | | | | | | | |
| 薬 | シスプラチン | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 体重 | | | 5 8 | kg | | 5 8 | } | kg | | | kg | |
| 体温 | | 3 | 6.5 | $^{\circ}$ | | 36. | 8 | $^{\circ}$ | | | $^{\circ}$ | |
| 血圧 | (最高/最低) (mmHg) | | 775 | | | 118/ | 73 | | | / | | |
| 1⊟0 |)食事量 | いつもと同じ 食べられない | | | いつもと 食べられ | :同じ (ない | (T) | | いつもと同じ 食べられない | | ,1 | |
| 排尿 | 回数·量 | 排尿回数:多し 排尿量 :多し 排尿痛 :あり | | | 排尿回数排尿量排尿漏 | :多い | 迎 | | 排尿回数:多し 排尿量 :多し 排尿痛 :あり | 1 同じ | - | |
| 排便 | 回数 | [| 1] | 0 | [| 2 |] | 0 | [| |] 🗇 | |
| 吐き | 気・嘔吐 | 4 | 0 | | | \mathcal{C} |) | | | | | |
| 体が | だるい | (| 0 | | | \mathcal{C} |) | | | | | |
| 息切 | れ、呼吸が苦しい | | | | | | | | | | | |
| 咳 | | 痰がから | む / | 空咳 | 痰カ | がらむ | / | 空咳 | 痰がから | む / | 空咳 | |
| あおる | あざ・内出血、出血しやすい | | | | | | | | | | | |
| めまり | ハ・立ちくらみ | | | | | | | | | | | |
| 手足 | のむくみ | | | | | | | | | | | |
| 目の | まわり、まぶたの腫れ | | | | | | | | | | | |
| 発疹 | ・かゆみ | | | | | | | | | | | |
| 口内 | <u> </u> | | | | | | | | | | | |
| 脱毛 | | | | | | | | | | | | |
| 手足 | のしびれ | | | | | | | | | | | |
| 聞こ | えづらい、耳鳴り | | | | | | | | | | | |
| その | 他の気になる症状 | 点滴したと る気がする | ころが腫 | れてい | | | | | | | | |
| メモ | | | | | | | | | | | | |

葉酸及びビタミン B₁₂ の使い方について医師又は薬剤師から説明を受けた日、 投与を開始した日を記入してください





| | 日付 | 年 | 月 | В | | 年 | 月 | В | | 年 | 月 | 8 |
|-----|---------------------|-------|-------|------------|------|------|-----|------------|------|------|-----|-----|
| | 葉酸 | | | | | | | | | | | |
| 治 | ビタミンB ₁₂ | | | | | | | | | | | |
| 療 | ペメトレキセド | | | | | | | | | | | |
| 薬 | シスプラチン | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 体重 | | | | kg | | | | kg | | | | kg |
| 体温 | | | | $^{\circ}$ | | | | $^{\circ}$ | | | | ℃ |
| 血圧 | (最高/最低) (mmHg) | | / | | | | / | | | | / | |
| 100 | の食事量 | いつもと同 | じ 少な | い | いつも | と同じ | 少なし | ۱, | いつもの | と同じ | 少な | ٧١ |
| 100 | /及乎里 | 食べられた | はい | | 食べられ | れない | | | 食べられ | hない | | |
| | | 排尿回数: | | | 排尿回数 | | | | 排尿回数 | | | |
| 排尿 | 回数•量 | 排尿量 : | | 少ない | 排尿量 | | | 少ない | 排尿量 | | | 少ない |
| | | 排尿痛: | あり なし | | 排尿痛 | | | | 排尿痛 | | なし | |
| 排便 | 回数 | [| |] 🛛 |] | | |] 🛛 | [| | |] 🛛 |
| 吐き | 気・嘔吐 | | | | | | | | | | | |
| 体が | だるい | | | | | | | | | | | |
| 息切 | れ、呼吸が苦しい | | | | | | | | | | | |
| 咳 | | 痰がた | いらむ / | 空咳 | 痰が | がからも | ; / | 空咳 | 痰ź | がからも | / د | 空咳 |
| あおる | あざ・内出血、出血しやすい | | | | | | | | | | | |
| めまり | い・立ちくらみ | | | | | | | | | | | |
| 手足 | のむくみ | | | | | | | | | | | |
| 目の | まわり、まぶたの腫れ | | | | | | | | | | | |
| 発疹 | ・かゆみ | | | | | | | | | | | |
| 口内 | 炎 | | | | | | | | | | | |
| 脱毛 | | | | | | | | | | | | |
| 手足 | のしびれ | | | | | | | | | | | |
| 聞こ | えづらい、耳鳴り | | | | | | | | | | | |
| その | 他の気になる症状 | | | | | | | | | | | |
| メモ | | | | | | | | | | | | |



| 年 | 月 日 | 年 | 月 日 | 年 | 月 日 | 年 | 月 | |
|------------------------|------------|----------------|---------|-------------------|----------|-------------------|-------|--------------------|
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | kg | | kg | | kg | | | kg |
| | $^{\circ}$ | | ° | | ° | | | $^{\circ}$ |
| / | | | / | | / | | / | |
| いつもと同じ | 少ない | いつもと同じ | 少ない | いつもと同じ | 少ない | いつもと同じ | 少ない | |
| 食べられない 排尿回数:多い | 同じ 小ない | 食べられない 排尿回数:多い | 目19 小ない | 食べられない 排尿回数:多い | Els Wash | 食べられない 排尿回数:多い | | <i>+></i> 1.1.1 |
| 排尿量 :多い | 同じ 少ない | 排尿量 :多い | 同じ 少ない | 排尿量 :多い | 同じ 少ない | 排尿量 :多い | 同じ 少 | |
| 排尿痛:あり | | 排尿痛:あり | | 排尿痛:あり | | 排尿痛:あり | | |
| [|] 0 | [|] 🛽 | [|] 0 | [|) [| ני |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 痰がからむ | / 如眩 | 吹がからむ | | 吹がかられ | | 痰がからむ | · / 如 | 加衣 |
| טיפיינוינואָ <i>וו</i> | / 王岋 | 100 M | 2 | 75.01.03d | 2 / 王嶼 | 100 M | , / エ | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | 1 | | 1 | | 1 | | |

| | 日付 | 年 | 月 | В | 年 | 月 | В | 年 | 月 | В |
|------|---------------------|----------------|-----|------------|----------------|-----|------------|----------------|--------|-----|
| | 葉酸 | | | | | | | | | |
| 治 | ビタミンB ₁₂ | | | | | | | | | |
| 療 | ペメトレキセド | | | | | | | | | |
| 薬 | シスプラチン | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 体重 | | | | kg | | | kg | | | kg |
| 体温 | | | | $^{\circ}$ | | | $^{\circ}$ | | | ℃ |
| 血圧 | (最高/最低) (mmHg) | | / | | | / | | | / | |
| 100 | の食事量 | いつもと同じ | 少なし | ۱, | いつもと同じ | 少なし | ۸,۱ | いつもと同じ | 少な | しい |
| | グレチ 重 | 食べられない | | | 食べられない | | | 食べられない | | |
| 41-0 | D#L = | 排尿回数:多い | | | 排尿回数:多以 | | | 排尿回数:多以 | | |
| 排尿 | 回数•量 | 排尿量 :多し排尿痛 :あり | | 少ない | 排尿量 :多し排尿痛 :あり | | 少ない | 排尿量 :多い排尿痛 :あり | | 少ない |
| 排便 | |] | |] 0 |] | |] 0 |] | - 10.0 |] [|
| 吐き | 気・ 嘔吐 | | | | | | | | | |
| 体が | だるい | | | | | | | | | |
| 息切 | れ、呼吸が苦しい | | | | | | | | | |
| 咳 | | 痰がから | む / | 空咳 | 痰がから | む / | 空咳 | 痰がから | む / | 空咳 |
| あおる | あざ・内出血、出血しやすい | | | | | | | | | |
| めま | い・立ちくらみ | | | | | | | | | |
| 手足 | のむくみ | | | | | | | | | |
| 目の | まわり、まぶたの腫れ | | | | | | | | | |
| 発疹 | ・かゆみ | | | | | | | | | |
| 口内 | 炎 | | | | | | | | | |
| 脱毛 | | | | | | | | | | |
| 手足 | のしびれ | | | | | | | | | |
| 聞こ | えづらい、耳鳴り | | | | | | | | | |
| その | 他の気になる症状 | | | | | | | | | |
| メモ | | | | | | | | | | |

治療ダイアリー

| | | | | | | | | | | /[|]][京。 | <u> </u> | <i>J</i> · <i>J</i> – |
|--------------------|------|------------|----------------------|------|------------|-------------|-----|-----|------------|-------------|-------|----------|-----------------------|
| 年 | 月 | В | 年 | F. | B B | 年 | | 月 | В | 角 | Ę | 月 | В |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | kg | | | kg | | | | kg | | | | kg |
| | | $^{\circ}$ | | | $^{\circ}$ | | | | $^{\circ}$ | | | | $^{\circ}$ |
| / | / | | | / | | | / | | | | | / | |
| いつもと同じ |) 少な | い | いつもと同 | じ 少な | しい | いつもと同 | じ 少 | 少ない | | いつもと | 司じ | 少なし | 1 |
| 食べられなし | | | 食べられな | | | 食べられた | | | | 食べられ | | | |
| 排尿回数:多以 | | | | | | 排尿回数: | | | | 排尿回数: | | | |
| 排尿量 :多し 排尿痛 :あり | | | 排尿鬼 · 3 排尿痛 : 3 | | | 排尿量 : 排尿痛 : | | | | 排尿量 : 排尿痛 : | | | |
| [| | | [| | | [| | | | [| | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 痰がからむ | / 2 | 空咳 | 痰がか | らむ / | 空咳 | 痰がカ | らむ | / 空 | 咳 | 痰がた | からむ | / | 空咳 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

| ムムニー | つけ施設情報 |
|------------|--------------------|
| 71171117 | |
| // // -/ - | 7 1 7 1150X 1H +1X |

施設名:

担当医:

電話番号:

薬局名:

電話番号: